



2020 年度事業計画書

期間：2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

1. 活動方針

当協議会は、ドライブレコーダーを活用した交通事故や交通関係トラブルの予防、早期解決などを通じて、安全で安心な交通社会を実現するため、ドライブレコーダーの普及及び利活用を幅広く総合的に推進することを目的としている。

近年、あおり運転等のルールやマナー違反に対する社会的な関心が高まるとともに、高齢運転者の見守りなどの点から、特にマイカー向け（コンシューマー向け）ドライブレコーダーの普及が急速に進んでいる。従来から普及が進んできたタクシー、トラック、バス等の業務用ドライブレコーダーのみならず、マイカー向けドライブレコーダーについても、運転状況を映像として残すことの重要性が社会的に認識されてきたといえる。

ドライブレコーダーの映像は、公正な事故処理等を効率的に進めるとともに、安全運転を促すことにより事故を予防することに役立っている。また、個別の事故の予防や処理の効率化に資するだけでなく、その映像情報やビッグデータは、社会全体としての交通事故の予防や交通安全の向上に寄与するとともに、さらに今後期待される自動運転社会における新たな技術開発の基礎データや自動運転車事故のメカニズムの解明など、新たな役割も期待される。

こういった社会的な背景を受け、2020 年度においては、当協議会が推奨するドライブレコーダーについて、関係する仕様のガイドライン等を引き続き定めるとともに、市販ドライブレコーダーの製品テストの充実・公表により、ドライブレコーダーの基本的な性能、信頼性の向上等を促す施策を推進する。

また、損害保険会社を中心に、通信機能を備えたドライブレコーダーの普及が進んでいることから、ドライブレコーダーによる各種情報提供や事故自動通報など、テレマティクスや IoT サービスとしての活用についても検討を進める。さらに、社会全体で大量に記録される映像情報のビッグデータの交通安全への活用についても、技術面やプライバシーなどの側面からの研究調査を行い、ドライブレコーダーのさらなる有効活用が図られるよう目指していくこととする。

コロナ対策として、多人数の会合を避けるため、Web 会議を利用することが一般化している。当協議会においても、適当な Web 会議システムを利用して部会活動を積極的に再開していくこととしている。また、理事会、総会、運営委員会についても、書面審議と Web 会議システムを積極的に利用していきたい。

2. 活動主要項目

(1) ロードマップの作成

ドライブレコーダー普及の背景となっている映像情報化社会と自動運転時代の到来を想定しながら、ドライブレコーダー関連製品の発展とドライブレコーダー協議会の活動について、部会を設けるなどにより、2030 年までのロードマップを作成する。

(2) 製品テスト

市場が急拡大している中、特にコンシューマー向け製品については、多くの製造メーカーから毎年多数の新製品が発売され、新機能の搭載や新しい使い方の提案も一層スピードアップしているため、市場動向の情報交換及び問題点の討議を目的とする製品テスト部会を毎月 1 回行うとともに、会員及び市場における新製品及び新機能の確認を行う製品テストを年 1 回行い、公表する。

特に、会員外の製品については、会員からの要望や月例の部会報告を勘案して、製品テスト部会において確認すべき製品を購入して、実機の記載内容と性能について確認を行う。また、実機の確認を効率的かつ公平に行うため、テスト項目の見直し、テストに必要な部材の購入、新たな測定治具の立案・作成、既存の治具の改良、テスト方法の改善等を行う。

(3) データ活用

データ活用部会では、従来のニアミス分析や事故分析などの Reactive（対応型）分析活用に合わせて、Proactive（積極型）分析活用の可能性を探究する。具体的には、会員企業の保有するドライブレコーダーデータから、事故寸前状況において、運転者の機転や優れた運転技能で危機を乗り越えるなど、他の運転者に参考になるポジティブ場面について、調査や発掘を行う。一定数の事例が集まり、横断的意味合いが抽出できるなど、成果がまとまれば公開する。

また、交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度により会員企業から提供されたドライブレコーダーデータの積極的な活用を図るため、補償金規程の見直しを行う。

さらに、データ利用における個人情報保護に関する勉強会を企画し、会員の認識を深める。

(4) 推奨ガイドライン作成

ドライブレコーダーの推奨ガイドライン作成部会では、昨年度、ADAS 部会との連携により、従来の基本要件に追加する要件項目として、ADAS 機能のガイドラインを作成するとともに、出力データの標準化について、内容の取りまとめを行った。

今年度は、追加要件ガイドラインの拡充に加え、記録媒体としてのSDカードのガイドライン作成とその認定制度の検討を行う。さらに、救急ヘリ病院ネットワークのD-Call Net 研究会との連携により、ドライブレコーダーを第2種D-Call Net（後付け自動車事故自動通報システム）に適用する場合における仕様の取りまとめと公表を目指す。

（5）ADAS ガイドライン作成

ADAS 部会では、昨年度、推奨ガイドライン作成部会との連携により、従来の基本要件に追加する要件項目として、ADAS 機能のガイドラインの作成を行った。

今年度は、第2年目として、会員の求める活動を続け、少なくとも、ADAS ドラレコ機器普及の広報活動とマーケティング活動、ADAS 関係のセミナーを行う。セミナーとしては、MOBILEYE に関する説明会、無償提供されたADAS 機器使用報告会、運転者監視機能（DMS: Driver Monitoring System）の可能性報告会なども企画する。

【参考】理事会で案として審議された本部会の活動内容

ADAS 機器の認知向上に寄与する広報活動

ADAS 機器の性能評価と認証の仕組みの構築

ADAS 機器が及ぼす効果の検証

ADAS 機器を活用した自動車の安全運転講習活動

ADAS 機器の採用の要望活動

その他、ADAS 機器の普及に向けた活動、その他関連事項

（6）広報・技術広報

ドライブレコーダーの社会的な認知度の向上に伴って、マスコミ等からの問合せ増加など、当協議会の知名度の向上が感じられる中において、2020年度は、この流れを逸することなくPR活動を強化し、当協議会の社会的存在感の向上を目指した施策を実施する。

具体的には、適時、適切なニュースリリースを行い、より多くのマスコミ等においての記事、ニュースが取り上げられるよう情報提供や話題提供を実施する。

また、協議会の情報発信ツールとして欠かせないホームページをリニューアルし、ドライブレコーダー関係者やドライブレコーダーに興味を持つ一般ユーザーが積極的に活用できるサイトにするとともに、更新やニュースリリースの発信を効率的に行える機能を導入する。

ドライブレコーダーの技術的な面における広報・普及については、各方面からの求めに応じて、主に講演・資料提供などにより積極的に対応していく。

(7) 「ドラプリ 2020」開催

ドライブレコーダー・シンポジウムは、時代に即したテーマや講師を中心に、当協議会の活動を幅広く広報する機会であるとともに、会員はもとより、未加入のドライブレコーダー関係者、有識者等も含めた交流の場として毎年開催しており、また、当協議会発足の原点でもある。

今年度は、「ドラプリ 2020」として、2020 年 11 月に「社会で活用されるドライブレコーダー：楽しい使い方から事故防止まで」をテーマに開催する。

(8) 個人情報保護

当会の活動に関し、必要な個人情報保護ポリシーを作成し、ドライブレコーダー補償金制度等の運用における個人情報保護を行う。

(9) 他機関との連携・協力

ドライブレコーダーに関連する他機関・団体との連携・協力を積極的に行い、連携すべき各種機関・団体との情報交換の機会を計画的に設けてきたところである。今後は、新たに、損害保険関係団体、画像処理団体等との提携を図っていく。

3. 部会

(1) 製品テスト部会

部会長	小野 治良（株式会社慶洋エンジニアリング）
副部会長	－
幹事	喜多 政伸（株式会社ユピテル）
実施事項	1. 会員各社製品（特に新製品）の機能や仕様表記確認 2. 会員外製品の購入・性能確認・仕様表記確認 3. 既存テスト治具（360° 画角測定器・LED 信号エミュレーター）のブラッシュアップ 4. 検討課題（精度アップ・効率）の対策と新規治具の作成の検討 5. 製品テスト試験要領書の内規の見直し
実施計画	既存治具のブラッシュアップ及び新たな治具の作成

--	--

(2) データ活用部会

部会長	堀野 定雄（神奈川大学）
幹事	渡部 大志（埼玉工業大学）
実施事項	1. 会員企業の保有データからポジティブ場面の調査・発掘 2. 交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度補償金規程の見直し 3. データ利用における個人情報保護に関する勉強会の開催
実施計画	1. 従来からの Reactive 分析に加え、Proactive 分析活用の可能性の探究として、会員企業の保有データからポジティブ場面の調査・発掘を行う。 2. 交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度により会員企業から提供されたドライブレコーダーデータの積極的な活用を図るため、補償金規程を見直す。 3. データ利用における個人情報保護に関する勉強会の企画・運営を行う。

(3) 推奨ガイドライン作成部会

部会長	小林 恭二（セルスター工業株式会社）
副部会長	久保 登（神奈川大学）
幹事（推奨 SD カード検討担当）	江本 雄一（キオクシア株式会社）
実施事項	1. コンシューマー用ドライブレコーダーの推奨ガイドラインの作成 2. ドライブレコーダー記録データの標準化 3. SD カードの推奨ガイドラインの作成
実施計画	1. ドライブレコーダーの推奨ガイドライン追加要件を検討し、公表する。 2. ドライブレコーダーからの出力データの標準化を検討し、公表する。 3. ドライブレコーダーでの記録媒体としての SD カードについて、推奨ガイドラインの作成及び認定制度の検討を行う。

	4. ドライブレコーダーを救急通報システム（D-call Net）のプラットフォームとして活用する構想の実現について、救急ヘリ病院ネットワークの D-call Net 研究会と相互協力を行う。

（４）ＡＤＡＳ部会

部会長	浮穴 浩二（ＵＫコンサルタント）
副部会長	實川 裕敏（ジャパン・トゥエンティワン）
幹事	小林 恭二（セルスター工業(株)） 中村 良幸（カーメイト） 富永 創樹（ジャパン・トゥエンティワン）
実施事項	1. ADAS ドライブレコーダーのガイドラインの見直し（アップデート） 2. ADAS ドライブレコーダーのマーケティング活動及びセミナー開催 3. ADAS ドライブレコーダーの性能評価と認証の仕組みの検討
実施計画	毎月の部会開催時にガイドラインの見直しをベースで行う。 1. ADAS 機器（ドライブレコーダー含む）の認知向上に寄与する広報活動 2. ADAS ドライブレコーダーの性能評価と認証の仕組みの検討 3. ADAS 機器が及ぼす効果の検証のためのアンケート調査 4. ADAS 機器に関する説明会、無償提供された ADAS 機器の使用報告会、将来のドライブレコーダー付加機能としての 運転者監視機能 （DMS: Driver Monitoring System）の可能性セミナーなどを開催

（５）広報部会

部会長	鳥塚 俊洋（株式会社 J A F メディアワークス）
副部会長	久保 登（神奈川大学）
幹事	－
実施事項	1. セミナー参加、寄稿、マスコミ等からの取材対応 2. ホームページの改修及び運営 3. ニュースリリース等の情報発信
実施計画	1. 事務局と連携し、素早い対応を実施する。 2. ホームページの改修を早期に完了し、積極的な運用体制を構築する。 3. ホームページ、プレス資料投げ込みとともに、P R サービスを利用したニュースリリースの発信体制を構築する。

--	--

(6) 技術広報部会

部会長	久保 登（神奈川大学）
副部会長	－
幹事	－
実施事項	1. ドライブレコーダーの技術的・専門的な事項についての講演依頼、マスコミからの取材依頼への対応 2. 他の部会と連携したドライブレコーダーの技術的な内容の広報の実施
実施計画	1. 協議会の作成する広報資料の技術的な監修を行う。 2. 依頼に応じて、講演、寄稿、取材対応を行う。

4. 組織体制

(1) 社員総会

社員総会を 2020 年 6 月に開催する。

会員名簿

株式会社アンバレラ・ジャパン

MS&AD インターリスク総研株式会社

株式会社 INBYTE

AOS データ株式会社

株式会社 NP システム開発

株式会社エフ・アール・シー

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

大橋産業株式会社

株式会社カーメイト

キオクシア株式会社
クリムゾンテクノロジー株式会社
株式会社グリーンハウス
株式会社慶洋エンジニアリング
KDDI 株式会社
株式会社コムテック
コーンズテクノロジー株式会社
株式会社ザクティ
ジャパン・トゥエンティワン株式会社 東京本社
SOMPO リスクマネジメント株式会社
株式会社 JAF メディアワークス
株式会社審調社
セルスター工業株式会社
株式会社 TCL
株式会社ティービーアイ
東海クラリオン株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
ドコモ・システムズ株式会社
株式会社鳥取スター電機
トム通信工業株式会社
豊田通商株式会社
トヨタ部品大阪共販株式会社
株式会社日本交通事故鑑識研究所
パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
パナソニック カーエレクトロニクス株式会社
古野電気株式会社
株式会社プレミア・エイド
株式会社プロジェクト琉球

株式会社村上開明堂

株式会社モービルアイジャパン

矢崎エナジーシステム株式会社

株式会社ユピテル

ローム株式会社

株式会社ワーテックス

個人会員 16 名

2020 年 4 月 1 日

(2) 理事会

2020 年 5 月及び 2021 年 3 月に定期理事会を開催する。

理事会名簿 (2020 年 4 月 1 日現在)

理事 7 名 監事 2 名 役員合計 9 名

会長	宮寄 拓郎	国立大学法人群馬大学 客員教授 株式会社 NTT データ アイ 特別参与
副会長	鳥塚 俊洋	株式会社 J A F メディアワークス IT メディア部 部長
理事 (経理担当)	竹村 公一	SOMPO リスクマネジメント株式会社 自動車コンサルティング部 特命部長
理事 (特命担当)	辻村 春樹	株式会社 T・コーポレーション 代表取締役
理事 (製品テスト部会担当)	-	-
理事 (補償金制度担当)	井脇 太郎	東京海上日動火災保険株式会社 東京中央支店
理事 (データ活用部会担当)	堀野 定雄	神奈川大学 工学研究所 高安心超安全交通研究所 (KU-WIRF)
理事 (推奨ガイドライン 部会・ADAS 部会・会員担 当)	龍 重法	前 株式会社堀場製作所 営業本部 東京セールスオフィス 自動車営業統括室 シニアアドバイザー
理事 (ドラプリ担当)	-	-
監事	金子 由里子	あい会計事務所 公認会計士・税理士
監事	吉本 堅一	東京大学名誉教授 工学博士

(3) 運営委員会

運営委員会は、理事・監事及び部会長より構成し、毎月1回、会長を中心にドライブレコーダー協議会の日常的な運営事項を協議する。必要に応じ、会長が指名する者が協議に参加する。

(4) ドラプリ実行委員会

運営委員会のもとに、ドラプリ実行委員会を設置する。ドラプリ実行委員会に委員長を置く。ドラプリ実行委員会は、委員の募集を行った上で、テーマの吟味、演者の募集・依頼及び当日の運営等全般を執り行う。運営に当たっては、前年の反省を踏まえて改善を図る。

(5) 事務局

一般社団法人ドライブレコーダー協議会 事務局 (株式会社審調社 業務部)

〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目3番7号 スリージェ南大井ビル2F

TEL : 03-3767-0451 FAX : 03-3767-8590 e-mail : jdrc@scs-21.co.jp

以上